

山田瑛葉さん(自然科学研究科・博士前期課程2年)が、2019年11月7日から9日に開催された第58回電子スピンスイエンズ学会年会において、優秀発表賞を受章しました。

有機薄膜太陽電池を始めとした有機機能性材料は従来の無機材料に比べて、安い、柔らかい、簡単に作れるなどの利点があり、近年注目を集めています。しかしこれらの材料は従来のシリコン半導体等の無機材料と比べて電気が流れにくいなどの問題があり、機能性向上に向けた電荷キャリア動力学の解明が期待されています。

本研究では、新潟大学において独自に開発された過渡光電荷・過渡吸収同時測定法を用いて、光励起によってキャリアの移動度が増加するメカニズムの解明に成功しました。更に、磁場により移動度をさらに増加させることができる可能性が示されました。

受賞者：山田瑛葉（新潟大学院自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース修士2年）  
（指導教員：生駒忠昭教授）

名称：第58回電子スピンスイエンズ学会年会 優秀発表賞

演題名：Perylene diimide をドーブした Poly(*N*-vinylcarbazole)薄膜における光伝導に対する磁場効果

発表者：山田瑛葉、三浦智明、生駒忠昭

